

## 令和4年度第1回 島根支部健康づくり推進協議会の議事概要

開催日	令和4年10月7日(金)
場所	サンラポーむらくも 彩雲
出席委員	伊藤委員、沖田委員、梶谷委員、高梨委員、永江委員、増原委員、 三明委員 (敬称略、五十音順)
議題	
議事概要 (主な意見等)	<p>支部長あいさつ</p> <p>1. 健診事業及び保健指導の実施状況 【議題1】</p> <p>2. 各種事業の展開及び実施状況 【議題2】</p> <p>3. 今後の保健事業計画概要 【議題3】</p> <p>4. その他 【議題4】</p>
<p><b>1. 健診事業及び保健指導の実施状況【議題1】</b></p> <p>資料1及び資料2により令和3年度実績及び令和4年度の実施状況について説明</p> <p>[意見等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ リモートによる遠隔面談について、どのような方法で実施しているのか。</li> </ul> <p><b>【事務局】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ リモートに関しては、ズームまたはチームスを使用して実施しており、事業所や対象者の受けやすい環境（事業所の会議室や出先で対象者が保有しているタブレットやスマホ）にあわせて対応しています。</li> </ul> <p>[意見等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自社の場合、特定保健指導及びその他保健指導に関して、今年度は対象者全員が受けることができた。その要因としては、社長が保健指導の重要性を認識し、社長からの言葉で実施ができた。やはり、会社のトップからの言葉は効果があり、経営層への案内（働きかけ）も重要と思われる。</li> </ul> <p>[意見等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健診受診率の向上に向け、健診の受入枠を増やすため、実施機関の拡充とあるが、今後最終的な目標値等は何かあるのか。</li> </ul>	

**【事務局】**

- ・ 最終的な目標値等は現時点では無いが、受入枠として今年度は島根県内の全機関で支部目標受診率に相当する受入枠（約 70,000 人）であるが、最終的には受診対象者数（今年度で言えば、約 10 万人）が目指すところになります。

**2. 各種事業の展開及び実施状況【議題 2】**

資料 3 により説明

[意見等]

- ・ 未治療者や重症化予防の対象の方に関して、コロナ禍でよりリスクが高いと言われている中で、コロナ前よりも未治療の方が減少した、もしくは糖尿病の方が重症化予防に気を付けるといった傾向はないのか。

**【事務局】**

- ・ 事業報告では、未治療者の方に対しての受診勧奨（文書等）から受診に至った受診率で見ると、島根支部はコロナを境に逆に下がっている状況であり、推測ではありますが、コロナによる医療機関への受診抑止の傾向もあるのではないかと思います。また、島根支部は受診勧奨後の受診率が全国で昨年度は一番低い実績であり、支部として対応策を講じて、取り組んでいかなければならないと認識しています。

[意見等]

- ・ 保健指導等の対象となる者からは、健診結果で該当する項目がいつも同じで言われることも毎回同じなので受診しないなどと聞いている。一方で、コロナを契機にこのままではいけないと気付いてもらえるといいと思うが、島根県の場合、健診受診率等からもコロナによる影響はあまりなかったようだが、今年の夏以降のコロナ感染者増加により、他人事ではないとの意識が変わってくるのではないか。
- ・ 従業員に、自身の健康について意識してもらうのが重要と考えており、社内の SNS を通じて声掛けや情報提供をしている。また、先日出前講座も自社の予定に合わせて実施いただき、いい機会になったと感じている。一方で、出前講座を受けた事業所に対して、事後にアンケートはとっているのか。もし、未実施であれば、アンケートの結果から今後の同事業等に活かせるのではないか。

**【事務局】**

- ・ 現状では、事後アンケートはとっていないため、今後の参考にさせていただきます。

[意見等]

- ・ 糖尿病性腎症について、国保加入者で同事業の保健指導の現場で対象者に聞くと、糖尿病や生活習慣病は聞いたことはあるが、腎症については知らない、またはこれまで聞いたことがないという方が大半である。そのため、色々な機会に啓発し、少しでも自身の体の事

に気を向けてもらうことが重要であり、現役時の食生活等の生活習慣により、将来の重症化は十分に防げるのではないかと感じている。また、塩分過多等の食生活により、将来的に平均寿命より健康寿命（腎臓の寿命）が先にきてしまうといったことを啓発し、意識付けができないかとも日々考えている。

**【事務局】**

- ・ 協会でも同様のことは感じているものの、どのような勧奨が効果的かということが課題であります。

[意見等]

- ・ 聞いていても頭に残っていない場合もあるので、色々な場面を通じて継続して伝え続けていかなければならないと思われる。
- ・ 個人の意識を高めていくか、また正しい知識、理解をどう植え付けていくのか。さらには、対象となった方だけでなく、広く重症化になるとどうなっていくのかという事を啓発していくことが重要と考えられる。
- ・ 健康宣言事業に関して、島根支部でのこれまでの事業は今回の基本モデルとは何か隔たり等はあったのか。

**【事務局】**

- ・ これまでの島根支部での宣言では、健診や保健指導の目標数値や各事業所で取り組んでいた取組内容を宣言時に明記していなかったが、今後はそれらを明記していくことで、事業所でもより自分たちの取組を意識していただき、進捗を含め自らでの評価も可能となります。また、協会としても各事業所の取組内容に合ったフォローアップやアドバイス等が実施できるようになると考えています。

**3. 今後の保健事業計画概要【議題3】**

資料4により説明

[意見等]

- ・ 特定保健指導について、案内の時点で受けてもらえる事業所と受けてもらえない事業所に分かれている印象があり、事業所の担当者時点で受けてもらえない事業所に対して、何らかのアプローチができないかと考えている。今年度から、対象者が10名以上の事業所には案内を送付するのではなく、アポイントをとって訪問している。その結果、これまで受入がなかった事業所で受入れてもらえるようになった事業所もある。

**【事務局】**

- ・ 経年で受入のない事業所への働きかけは協会での課題であり、今後の対策に関して連携しながら、取り組んでいきたいと考えています。

[意見等]

- ・ 事業主の方を対象にした説明会のようなものはあるのか。

【事務局】

- ・ 現状では、担当者の方を対象にした説明会や研修は実施していますが、事業主の方を対象にした形式では実施はしていません。

[意見等]

- ・ 特定保健指導や重症化に特化した形でなくとも、事業主へ広く周知する中で従業員の健康に関して、最終的には特定保健指導や重症化への意識も高めるような形が実施できるのではないかとと思われる。
- ・ 業界団体への協会からのアプローチは実施しているのか。

【事務局】

- ・ 昨年度は運輸業の業界団体へ広報依頼等を実施しました。今後、業種や市町村別等で分析を行い、支部独自の傾向があれば、関連する業界団体等へのアプローチを今後、検討していきます。

[意見等]

- ・ 事業所への個別対応では時間も手間もかかるので、団体も巻き込んでこれまで十分に情報提供できていなかった事業所へも周知できるよう進めてほしい。
- ・ やはり、事業主や職場の理解があると、健診や保健指導に繋がると思うので、理解が深まり、健診や保健指導が当たり前のようなになればいいと思われる。
- ・ 事業所主等の職場全体の理解を得ていくことが重要であると感じた。

**4. その他【議題4】**

その他議題なし。

**特記事項**

次回の協議会について、令和5年2月から3月にかけて実施予定